

全附P連 令和7年度 附属学校・PTA活動 情報紹介シート

所属学校名	北海道教育大学附属函館中学校		
役 職	副校長	氏 名	黒田 諭
活動名称	総合的な学習の時間における「大学探究DAY」の取組		



令和7年6月、函館中学校の1学年102名が、総合的な学習の時間における探究活動の一環として、北海道教育大学函館校を会場に「大学探究DAY」と題した学習プログラムに参加しました。この学習プログラムは、函館中学校が今年度新たに発案し、函館校との連携のもとで実現しました。

<プログラム1>地域の課題に取り組む意味とは

生徒たちは函館市で活躍する3名の函館校卒業生及び現役の大学生から話を伺いました。函館市の広報誌の表紙を飾ったガイド、空き家活用の活動がNHKで特集されたNPO理事、そして福島から函館へ進学し地域の魅力発信に取り組む大学生らから、函館市での活動内容や、地域に密着した取組の意義などについて学びました。生徒からは「函館で自分のやりたいことを貫いているのがすばらしいと思いました。私も自分のやりたいことを周りに左右されずにできる人になりたいと思います。」などの感想が出されました。

<プログラム2>「まちの宝」を発見する楽しみと意味とは

函館中学校1年生の総合的な学習の時間における探究活動「函館市の『まちの宝』を見つけよう」を始めるにあたり、大学教授や大学生、地域で活躍する卒業生など多様な立場から、「まちの宝」の魅力を語っていただきました。スズメ研究の第一人者、植物博士、通訳案内士、観光や文化遺産の専門家などの個性豊かな講師陣による話から、生徒たちは「地域にある身近すぎて気がつかない魅力」を再発見する楽しさを学びました。

<プログラム3・4>学食体験・自由見学

午前の終わりに、生徒たちは大学の学食で昼食を食べました。いつもの教室とは違い、大学の食堂で食べる昼食に、生徒たちは皆、嬉しい表情で食べていました。その後、函館校の多様なブース（イノベーションコモンズ教室、アクティブラーニング教室、グループ学習教室）に足を運び、大学生が行っている地域課題解決探究の活動について説明を受けました。また、理科教育の研究室学生による生物観察体験、国際交流センターでの留学生との交流、夕陽記念館（北方教育資料館）見学の3か所に分かれて学習をしました。



<プログラム5>探究活動の進め方を知り、実践する

午後は、大学の先生から、探究学習に必要な資質・能力や学習の進め方などを教えていただいたり、探究的なグループワークに取り組んだりしました。今回の「大学探究DAY」を通じて、生徒たちは地域と深く関わる大人たちや大学生と出会い、自らの探究活動のヒントを得ることができました。